

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成28年8月25日 (2016.8.25)

【公表番号】特表2015-524294(P2015-524294A)  
 【公表日】平成27年8月24日 (2015.8.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-053  
 【出願番号】特願2015-522205(P2015-522205)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 B 5/1455 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 5/14 3 2 2

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月7日 (2016.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血液性状を測定するために、外部ホストデバイスのデジタルセンサー、CPUおよびディスプレイとの使用のために構成された装置であって、該装置は、  
端壁、側壁およびカバーを有するハウジング、および  
光をチャンバ - 内で軸方向に付属肢の先端に向けるように端壁に取り付けられた光源、  
を含み、

該ハウジングが、該ハウジングとホストデバイスとの間にチャンバーを定義するようにホストデバイスへの取り外し可能な取り付けのために構成され、該チャンバーが、デジタルセンサーを実質的に囲み、該チャンバー内に、生物の付属肢の少なくとも一部分が入れられて、前記付属肢の先端が、デジタルセンサーを覆うようにデジタルセンサーに隣接して配置され、および光源からの光が、前記付属肢の先端に向けられ、ここで、前記光源からの少なくとも幾らかの光が、前記付属肢の組織によって反射されて、センサーによって受け取られ、それによって生成されたデータが、血液性状を測定するためにCPUによって処理されることを特徴とする、装置。

【請求項 2】

前記カバーが、前記ハウジングにヒンジで付けられ、その結果、前記カバーは、付属肢の少なくとも一部分がチャンバーに入ることによって、外側に回転し、ここで前記ハウジングが、側壁の少なくとも 1 つの底縁を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記ハウジングが、携帯電話、デジタルカメラ、コンピューターに接続されたウェブカメラ、一体型のウェブカメラを有するコンピューターの少なくとも幾つかの上で交換可能に配置できるように構成されることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記光源が、前記ハウジングにおいて構成された、パワーが供給された光源であることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記光源が、ホストデバイス、内蔵電池および光電池の少なくとも 1 つによってパワーが供給されることを特徴とする、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

ホストデバイスの、デジタルセンサー、CPUおよびディスプレイと協働して作動する装置を使用して血液性状を測定するための方法であって、該方法は、

(a) CPUに血液性状の分析のためのプログラムを提供する工程；

(b) 端壁、側壁およびカバーを備えるハウジングを有し、ホストデバイスへの取り外し可能な取り付けのために構成された装置を提供する工程；

(c) 端壁に取り付けられ、光をチャンバ - 内で軸方向に生物の付属肢の先端に向けるように構成された光源を提供する工程；

(d) 前記ホストデバイスと前記ハウジングとの間にチャンバーを定義するように前記ハウジングを前記ホストデバイスと連結させる工程であって、前記チャンバー内に、生物の付属肢の少なくとも一部分が入れられ、前記チャンバーが、デジタルセンサーを実質的に囲む工程；

(e) 前記付属肢の少なくとも一部分を前記チャンバーに入れる工程であって、前記付属肢の先端が、デジタルセンサーを覆うようにデジタルセンサーに隣接して配置される工程；

(f) 前記光源からの光を軸方向に前記付属肢の先端に向ける工程であって、前記光源からの少なくとも幾らかの光が、前記付属肢の組織と相互作用する工程；

(g) 前記組織が相互作用した前記光源からの前記光の少なくとも幾らかをデジタルセンサーによって受け取る工程；および

(h) 血液性状を測定するために、CPUを使用して、デジタルセンサーによって生成されたデータを分析する工程、を含むことを特徴とする、方法。

**【請求項 7】**

前記光源から光を放出する工程をさらに含み、前記光源が、パワーが供給された光源であることを特徴とする、請求項 6 に記載の方法。

**【請求項 8】**

ホストデバイス、内蔵電池および光電池の少なくとも 1 つから前記光源にパワーを提供する工程をさらに含むことを特徴とする、請求項 7 に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記受け取る工程は、前記デジタルセンサーが、付属肢の先端からの毛細管組織と相互作用する前記光源からの前記光によって獲得した、時空間的な色の画素情報の画像を生成するように実施され、前記時空間的な色の画素情報が、生化学的パラメーターおよび血行動態パラメーターを計算するために使用されることを特徴とする、請求項 6 に記載の方法

。

**【請求項 10】**

ホストデバイスのディスプレイユニット上に前記分析の結果を表示する工程をさらに含むことを特徴とする、請求項 6 に記載の方法。